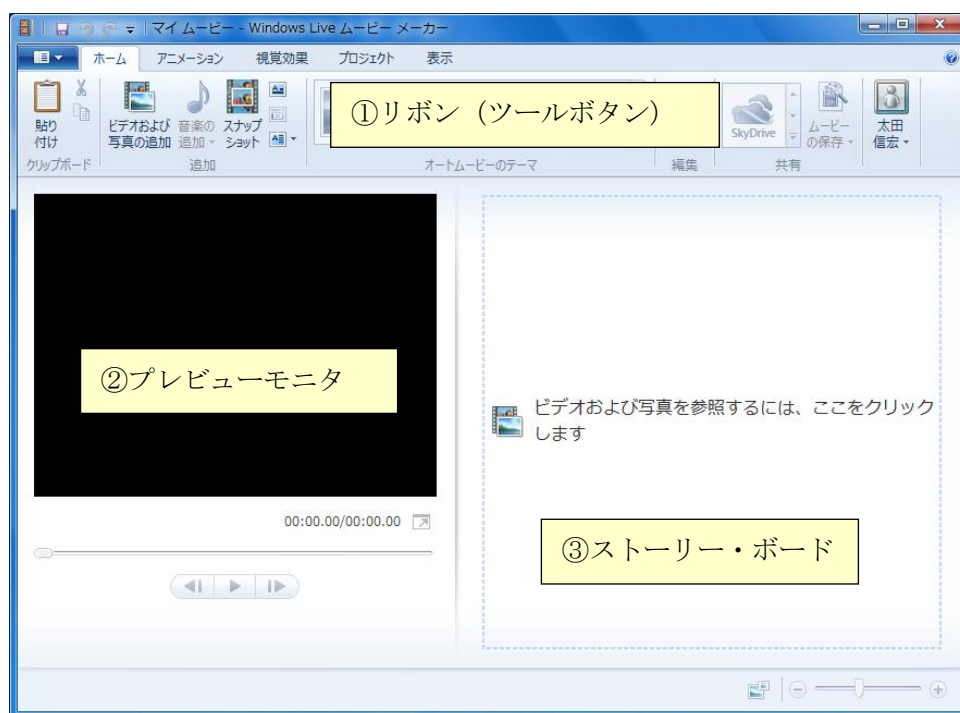


## Windows ムービーメーカーによるスライドショーの作成

### 1. ムービーメーカーの概要

携帯電話・スマートフォン・ビデオカメラなどで撮影した写真や動画を編集し、1本のムービー作品を作成するソフトである。再生順序の入れ替え、不要なシーンのカット、BGMの挿入、タイトル/字幕の作成などが可能である。入門者向けの動画編集ソフトである。

#### (1) 起動画面



#### ◆画面の説明

- ① リボン (ツールボタン)  
様々な操作ボタンや機能アイコンが置かれている。Office ソフトと共通のインターフェースである。
- ② プレビューモニタ  
作成中のムービーをプレビューするためのウィンドウである。
- ③ ストーリーボード  
作成中のクリップを再生する順番に表示するためのウィンドウ。特殊効果、切り替え効果の設定状況もあわせて表示される。

#### ◆ファイルの保存とオブジェクトの読み込み

##### プロジェクト

ムービーメーカーが管理するファイルの単位をプロジェクトという。プロジェクトには、作成したムービー、写真、オーディオの情報、さらにはタイトルや特殊効果など作品全体に関する情報が記録される。保存したプロジェクトファイルには「wImp」という拡張子が付く。

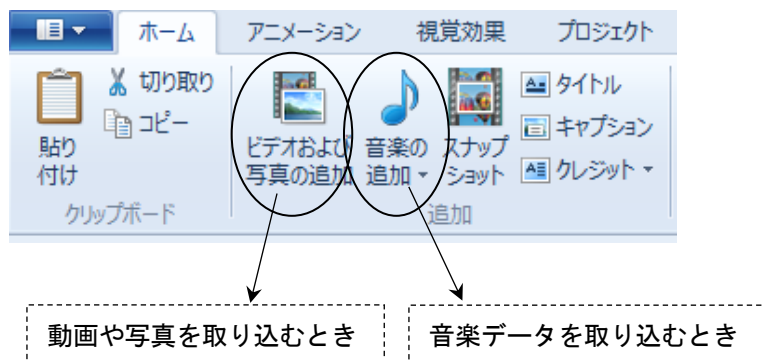
プロジェクトの保存 メニュー 名前を付けてプロジェクトを保存

##### オブジェクト

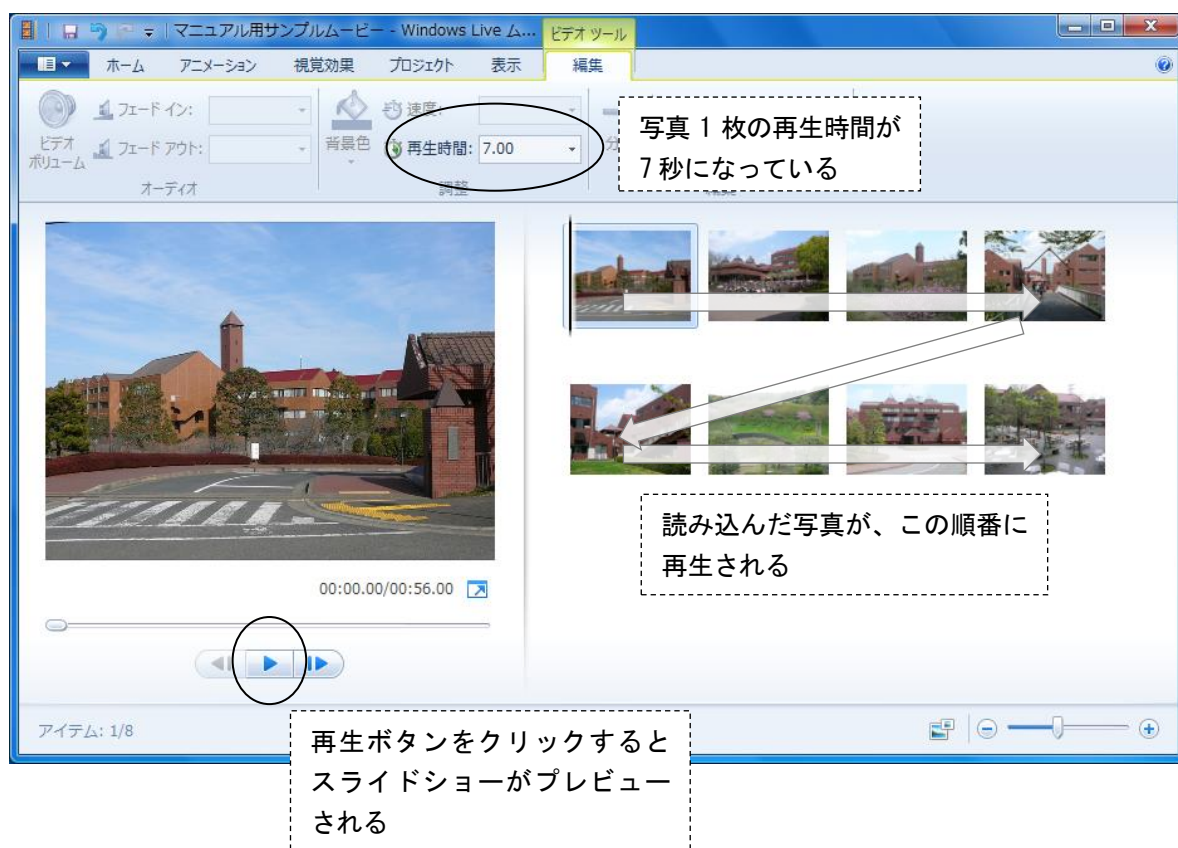
ムービーメーカーで動画編集を行うためには、はじめに「動画」、「写真」、「音楽」など編集に必要なデータを読み込む必要がある。これらのデータをオブジェクトと呼ぶ。

## 2. オブジェクトの読み込み

### (1) 写真・動画・音楽データの取り込み



(写真を読み込んだ直後の画面)



#### ◆再生時間について

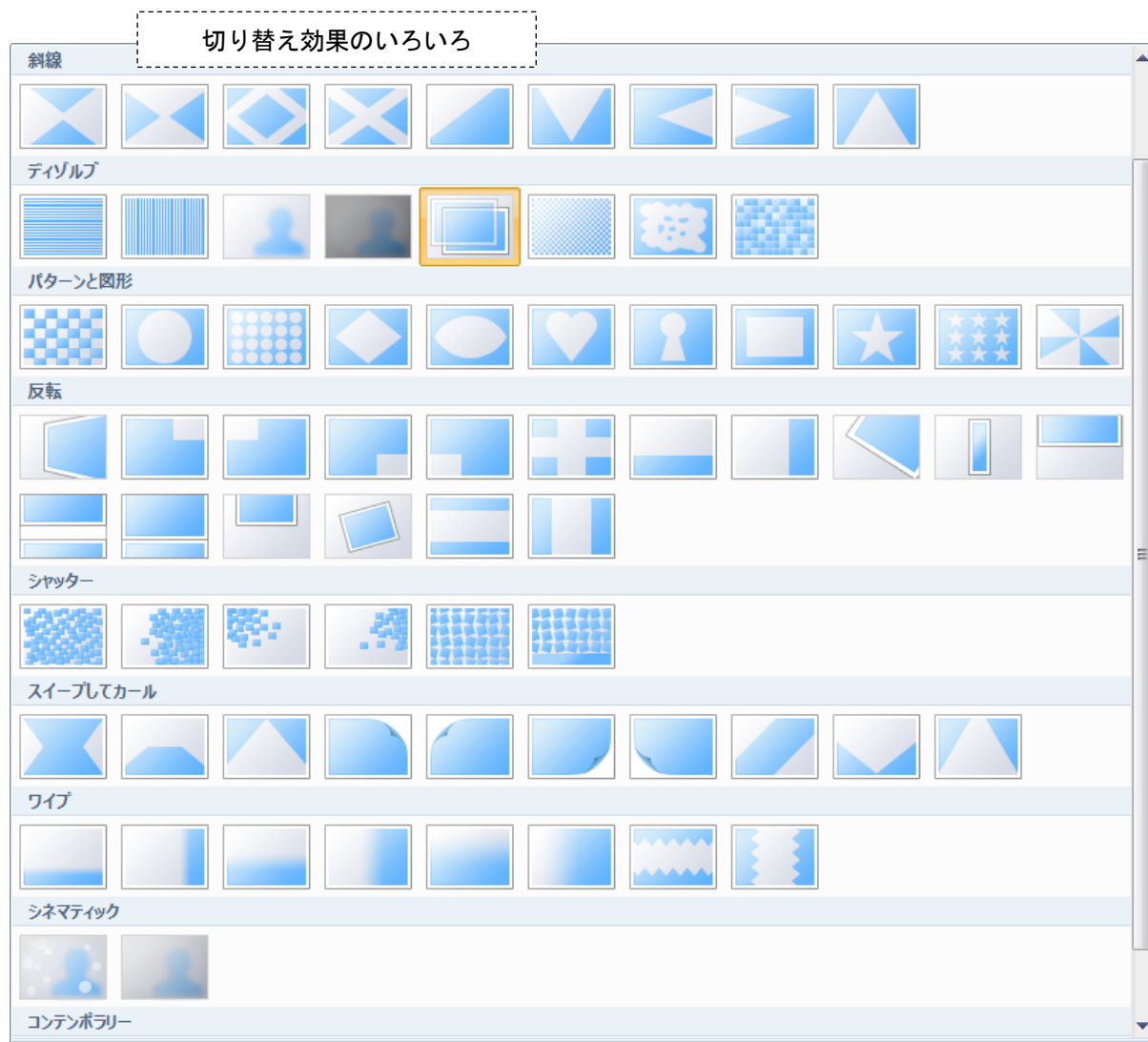
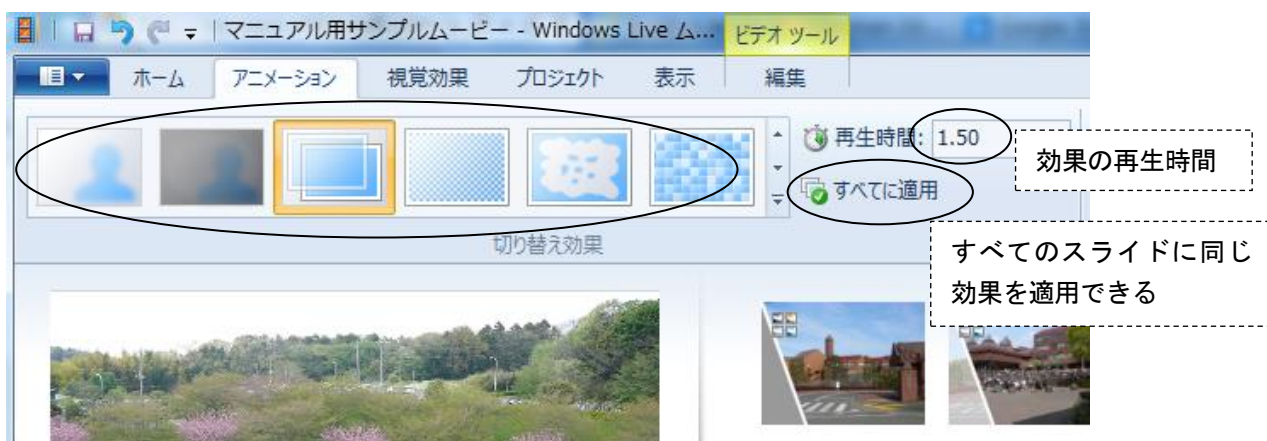
- ①再生時間は、動画については録画時間＝再生時間となる。一方、静止画には再生時間という概念がないため、それぞれの写真について再生時間を設定する必要がある。
- ②複数の写真をまとめて選択しておけば、一度に再生時間を設定することができる。

### 3. スライドショーのアニメーション

#### (1) スライドの切り替え

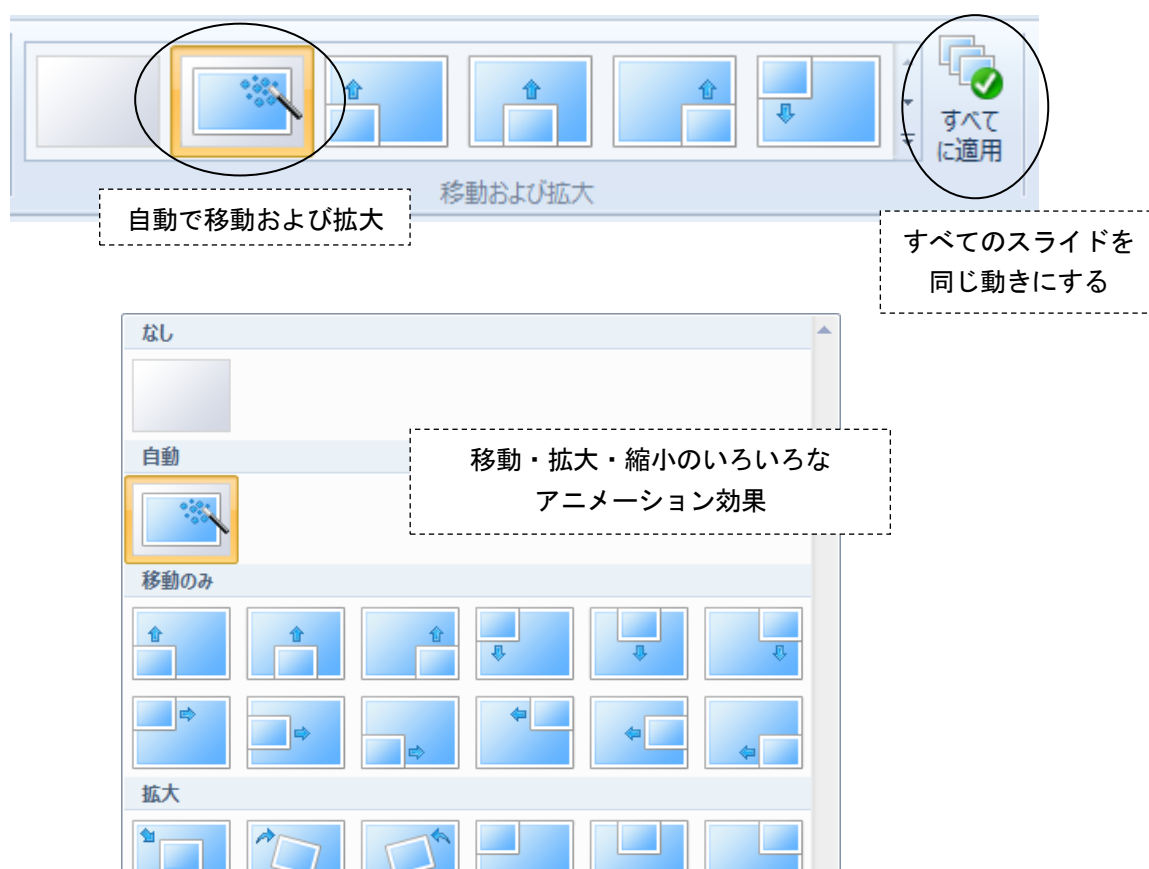
スライドを切り替えるときに、アニメーション効果を設定することができる。

アニメーション 切り替え効果



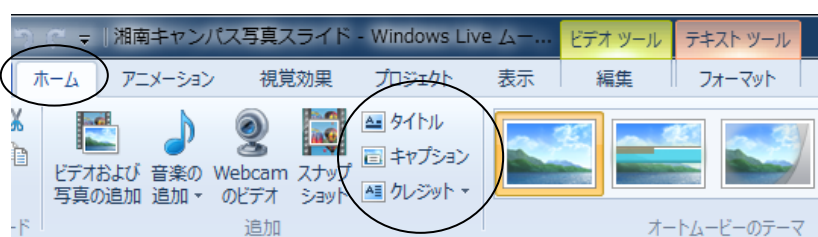
## (2) スライドのアニメーション効果

スライド写真に「移動および拡大」の効果を設定することができる。  
この効果により、静止画像を動画のように見せることができる。



## 4. タイトル・キャプション・クレジットの作成

作品の中にタイトルやキャプション（字幕）を入れることができる。操作は「ホーム」タブから行う。



### (1) タイトル

スライドの先頭や途中に、タイトルスライドを追加することができる。



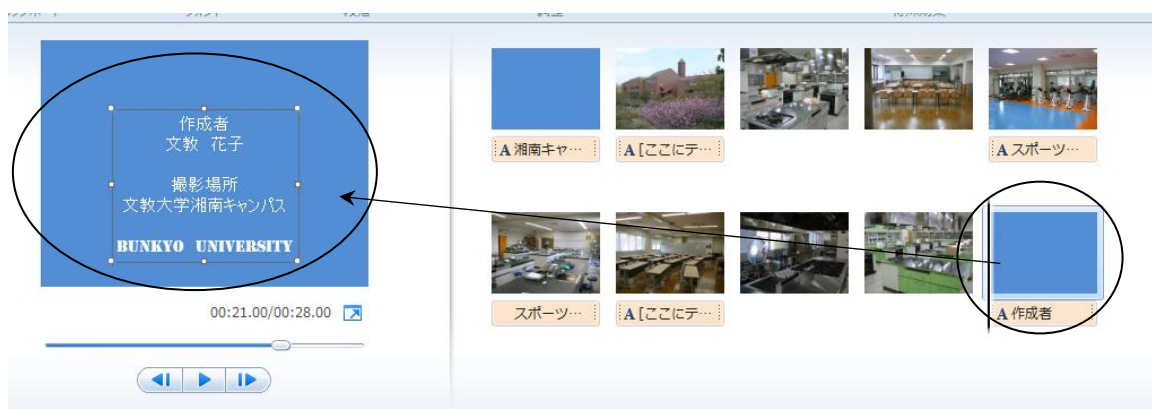
### (2) キャプション

写真の上に挿入するテキストをキャプション（字幕）という。



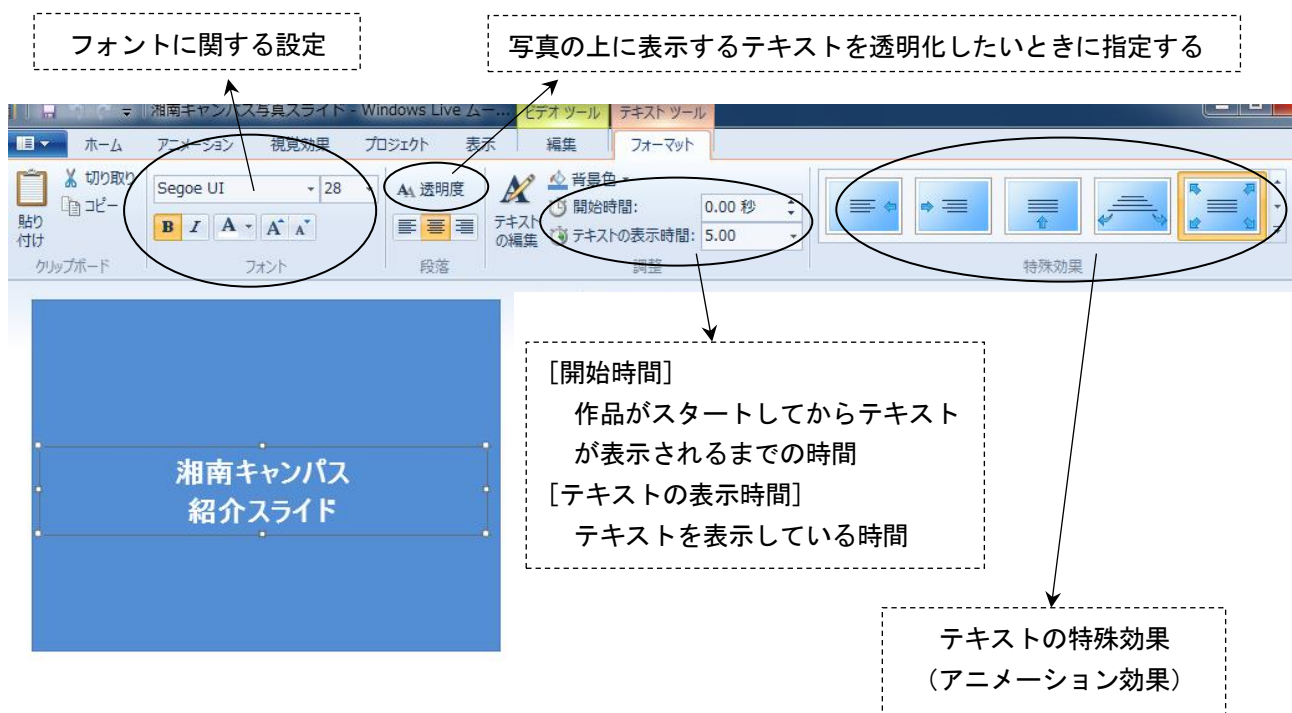
### (3) クレジット

スライドの最後にエンド・クレジットを入れることができる。クレジットの種類には「監督」「主演」「撮影場所」などがあるが、表示される初期テキストが異なるだけなので、どれを選んでもよい。



### (4) テキストに関する操作

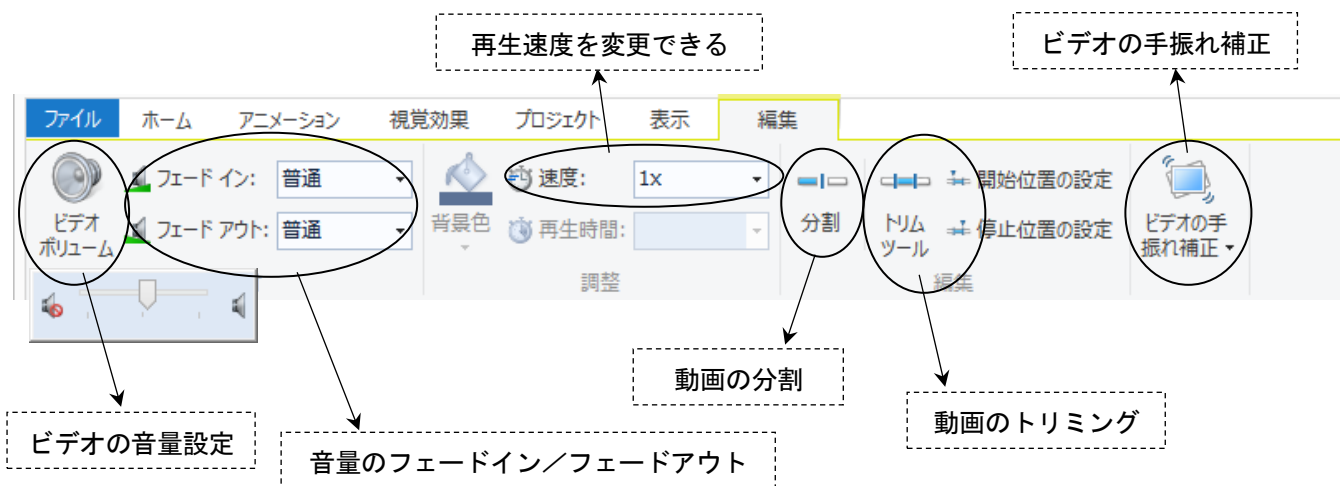
タイトル・キャプション・クレジットに関する操作は基本的に共通である。



## 5. 動画の編集

### (1) 動画の取り込みと編集

(スマートフォンやデジタルカメラで撮影した動画を取り込むことができる)



### 4本の動画を取り込んだ状態



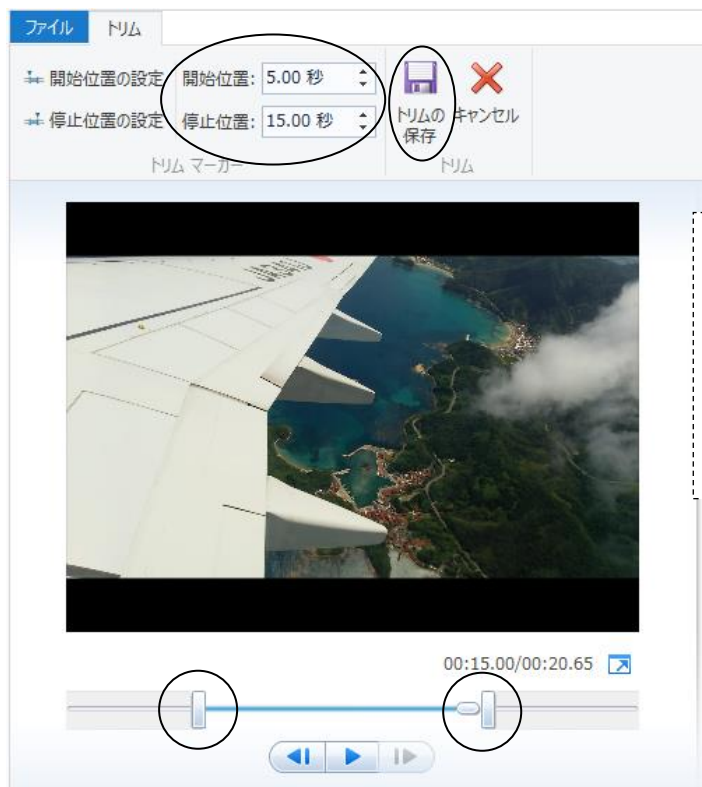
### (2) 動画の分割

動画を分割することで、不要な部分をカットしたり、再生順序を変更することができる。



### (3) 動画のトリミング

トリミングとは、1本の動画の開始部分および終了部分をカット（削除）する操作である。  
 （トリミングを行っても元の動画ファイルは削除されずに残っている）

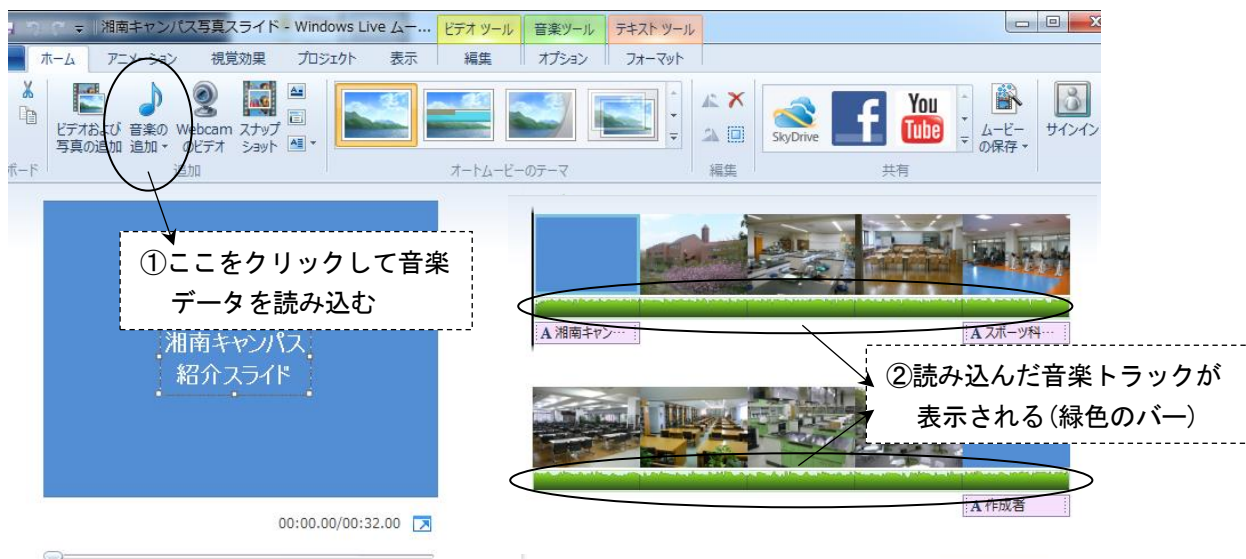






## (2) 音楽データの編集

### ① 音楽データの取り込み



#### ◆ 音楽データの再生について

- 1つの作品に複数の曲を読み込むことができる。
- 演奏時間が作品の再生時間よりも長い場合は、ムービーが終わったところで演奏も終了する。
- 反対に演奏時間の方が短い場合は、曲が終わったあとに「無音状態」で再生が続く。
- 曲の演奏時間にピッタリ合うように、再生時間を調整することもできる。



### ② 音楽データの編集

読み込んだ曲の再生時間、再生位置などを設定することができる。

- [開始時間] 作品がスタートしてからその曲が流れるまでの時間
- [開始位置] その曲の開始位置 (先頭から再生するときは0秒)
- [停止位置] その曲の停止位置 (=その曲の再生時間)



## 7. ムービー作品の出力と公開

### (1) 動画ファイルの出力

作成したムービーを動画ファイルとして保存することができる。プロジェクトとして保存したファイルはムービーメーカーで編集するためのファイルであり動画ではない。完成したムービーを PC やウェブで再生するためには、動画ファイルとして出力する必要がある。



Facebook や YouTube にアップロードするときを選択する

【操作例】

- ①ムービーの保存をクリック
- ②コンピュータ用をクリック
- ③ファイル名を入力する  
(半角英数字で保存する)  
例 `MyMovie.wmv`
- ④ムービーの作成が開始される  
(動画ファイルに変換する作業をエンコードという)

【動画ファイルのサイズ (目安)】  
標準画質 (640×480 ドット) の場合  
1 分間で約 40MB (メガバイト)

### (2) ムービーのウェブ公開

<embed>タグを用いると、ムービーファイルを HTML ファイルで公開することができる。

```
<html>
<head>
<title>湘南キャンパス</title>
</head>

<body>
<h3>湘南キャンパス紹介ムービー</h3>
<embed src="MyMovie.wmv" autoplay="false"
width="500" height="400" >
</embed>

</body>
```

自動再生する : true  
自動再生しない : false

